

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	公共交通分野における事故発生時の被害者支援のあり方に関する検討		事業開始年度	平成21年度		作成責任者
担当部局庁	総合政策局		担当課室	安心生活政策課		課長 東井 芳隆
会計区分	一般会計		上位政策	公共交通の安全確保、鉄道の安全性向上、ハイジャック、航空機テロ防止を推進する。		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	第169回国会における運輸安全委員会の設置等を内容とする国土交通省設置法等の一部を改正する法律案の審議において、「航空事故、鉄道事故又は船舶事故の被害者等に対する支援の重要性にかんがみ、これまでの事故に関する経験や知見を活かし、関係行政機関等の密接な連携の下、総合的な施策の推進のために必要な措置を検討すること。」とする附帯決議がなされたところ。 これを踏まえ、航空・鉄道等の公共交通機関において大規模な事故が発生した場合における、事故当事者である交通事業者以外の者も含めた被害者等への支援のあり方について検討する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	過去の事故事例(JR福知山線列車事故、日本航空123便墜落事故等)に関わった当事者、被害者・遺族等からのヒアリング等の調査を行い、求められる具体的なニーズの把握・整理を行う。それとともに、類似事例(災害、犯罪等)、海外制度(NTSB)における支援内容等についても、当事者、関係者からのヒアリング等の調査を行う。また、学識経験者、被害者(支援)団体、事業者団体、関係行政機関等からなる検討委員会を設置し、その調査結果をもとに、事故発生時における対応や被害者・遺族に対する支援等について、事故当事者以外の者も含めた被害者支援のあり方の検討を行う。					
実施状況	【21年度】 ・調査研究委員会 5回 ・NTSB視察(ワシントン) 1回 ・公共交通事故被害者等に対するヒアリング 11回、アンケート 2回 ・公共交通事故関係者等に対するヒアリング 13回					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	—	25	11	—
	執行額	—	—	22		
	執行率	—	—	88.0%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	—		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	本事業を実施するにあたり検討委員会を設置し、調査手法及び調査結果の整理の方法については、その都府事務局(委託事業者及び当課職員)から検討委員会に報告し、了承を得て行っている。具体的には、米国NTSBの担当者等とのヒアリングや現地視察等を行うための海外出張、公共交通事故被害者等の支援ニーズを把握するためのヒアリングやアンケートの実施等を行ったが、海外出張には職員も参加し、被害者等に対するヒアリングにおいても職員が数回同行することによって、事業実施現場を把握している。最終的には、報告書の内容により、本事業が適切に実施されたことを確認している。				
	見直しの余地	本事業の平成21年度における主な目的は、被害者等の支援ニーズの把握及び海外の支援制度の内容の把握であったが、数回にわたる公共交通事故被害者等に対するヒアリングやアンケートの実施により、支援に関するニーズを詳細に把握することができたとともに、海外出張においてNTSBや米国赤十字等関係機関の担当者から直接説明を受けることによって、米国における被害者支援制度に関して十分に内容が把握できた。よって、平成21年度においては、必要最低限の費用で十分な効果が得られたと認識。 平成22年度の調査内容について検討を行ったところ、海外出張や被害者へのヒアリングは行わないこととしたため、予算額を圧縮することとした。				
予算監視・効率化 チームの所見	【事業廃止】 平成22年度までに被害者・家族の支援ニーズ等の把握・整理及びそれを踏まえた対応策の検討のために必要となる調査結果を把握することができる見込みであり、当初の事業目的は達成されたと認められるため、当該事業は廃止とする。 ただし、政策目的は重要であるので、これを達成するため、今後当該事業における検討結果を踏まえた被害者・家族の支援ニーズに即した対応を行うことが必要。					
補記	【予算科目】 ・033 公共交通等安全対策費 ・95 公共交通等安全対策に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・95016-2129-06 諸謝金 1百万円 0百万円 ・95016-2122-08 外国旅費 0.4百万円 0.3百万円 ・95016-2122-08 委員等旅費 2百万円 0百万円 ・95016-2123-09 公共交通等安全対策調査費 22百万円 22百万円					

国土交通省  
22百万円

[事故被害者支援の充実に向けて、その必要性やあり方について検討]



【企画競争】

A. (株)三菱総合研究所  
22百万円

[被害者支援の具体的な内容についてニーズの把握・整理]

外国旅費  
0.3百万円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。使途と費目の  
 双方で実情が分かるように  
 記載)

A.(株)三菱総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	調査委員会の開催、米国への旅費	22			
計		22	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0